

## <趣旨・目的>

- ・本年度で終期をむかえる「第3期 奈良県児童虐待防止アクションプラン」(H29~H31)について、これまでの取組状況を振り返り、現時点での課題把握を踏まえたうえで、第4期アクションプラン改定案(骨子)を作成する

### 現行アクションプラン(第3期)の検証

#### ○4つの観点から検証

#### 1. 統計からの検証

- ・「児童虐待相談対応件数」の推移
- ・「児童虐待相談における最重度・重度の件数」の推移
- ・「児童虐待による死亡事例」の発生状況
- ・児童虐待対応件数に占める「被虐待児童の年齢割合」の傾向
- ・児童虐待通告における「通告経路」と「虐待種別」の傾向

#### 2. 現行アクションプランの取組実績、実行指標からの実施状況の評価

- ・28の評価指標からの評価(A、B、Cの3段階評価)

#### 3. 県及び市町村における課題等

- ・「児童虐待重症事例等検証部会」による検証結果報告書内容
- ・児童相談所及び市町村要対協における「体制整備」の状況

#### 4. 児童福祉法の改正及び国の方向性等

- ・「児童福祉法等の一部改正」の内容(令和元年6月26日公布)
- ・「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」(平成30年7月公表)
- ・「新しい社会的養育ビジョン」(平成29年8月公表)

### 課題抽出・洗い出し

左記の「4つの観点」からアクションプラン改定について検証を実施

現状における課題のほか必要な取組を抽出・洗い出し

### 検証結果

#### 第4期アクションプラン改定案における「枠組」

#### 枠組の見直し

#### 第3期プランの「4つの枠組」

未然防止

早期発見

発生後の対応

体制整備

#### 第4期プランの「6つの枠組」

未然防止

早期発見

発生後の対応

体制強化  
専門性強化  
(体制整備)

多機関連携

家庭的養育  
の推進

※赤字は追加・修正した内容

上記の「6つの枠組」内容を充実させるために必要な具体的取組を検討